

## 第5学年3組 国語科学習指導案

平成20年12月3日(水) 第2校時

授業者 教諭

### 1 単元名

詩を味わおう (ねぎぼうず/ケムシー/耳/蝶)

### 2 単元の目標

短詩について知り、その表現されている内容や効果を味わうことができる。

### 3 単元について

本文と題が一体となった短詩が4つ掲げられており、どの詩も、なるほどと思わずひざを打ちたくなる表現となっている。「ねぎぼうず」「ケムシー」は本文がヒント、題が答えとなっている謎解きのような詩であり、「耳」は比喻表現、「蝶」は連想の表現が生かされた詩である。上巻で「晴間」「海雀」「雪」「未確認飛行物体」の4つの詩を学習しており文語調の表現や擬人法の表現にも触れている。さらに、中学校では用語も含め表現の技法について理解を深めるようになっている。本教材の詩は、短く、比喻や連想の表現をまねて作ることが可能である。

### 4 児童について

児童は「未確認飛行物体」の学習の後、詩作に取り組んだ。自由課題であったが、「未確認飛行物体」を参考に、物体を生きている物と見た詩を作っている児童が6名いた。給食週間の標語作りを行った際は、多くの児童が五七五の形で作成しており、今まで学習したことを生かして課題に取り組もうとする児童が多い。

また、クイズや謎解き等の遊びを好み、英語活動でのスリーヒントゲームやお昼の放送での給食のクイズによく反応している。

本単元においてもクイズ感覚で比喻を生かした詩作りを意欲的な態度で取り組むものと考えられる。

### 5 指導について

「自分の考えを持ち、互いに深めあう子どもの育成」をめあてに、コミュニケーションを行うための能力と互いに尊重し意見を聞くことのできる人間関係の育成に努めてきた。グループでの話し合い、教え合い、確認する場を授業でもつようにしている。この単元の学習でも班での話し合いや発表をさせたい。

短詩であるので、表現のおもしろいところや工夫を話し合うだけでなく、児童自身が謎解きの短詩を作り、比喻や連想の表現活動ができるようにする。しかし、謎解きだけに児童が興味を持つと、対象となる物の様子を表しただけの表現になってしまうと思われる。そこで、表現のおもしろいところや工夫を話し合うなかで、動きや気持ちを表していることに気づかせ、自分の表現活動に取り入れることができるようにする。

「耳」「蝶」は美しい比喻表現が使われた詩であるので、児童が詩から受けるイメージをふくらますことができるようにしたい。自分が受けたイメージを班で交流したり、音読の工夫を考えさせたりして、想像をふくらませたい。

### 6 指導計画(2時間配当)

時	学習内容	ねらい	関	話	書	読	言	評価規準
1 本時	○題名当てクイズをする。 ○短詩を作る。	短い詩を読んだり書いたりすることで、言葉の意味を想像したり、表現の鋭さを味わったりする。	◎			◎		様子だけでなく、動きや気持ちがわかる表現になっていることに気づく。 意欲的に短詩作りをしようとしている。
2	○詩から受けたイメージを意見交流する。 ○音読する。	たとえの使い方や、事柄の意味を想像し、それをもとに工夫して音読することができる。				◎		たとえの使い方や美しい表現から、想像をふくらませている。 詩のイメージを音読で表している。

7 本時の目標

短い詩を読んだり書いたりすることで、言葉の意味を想像したり、表現の鋭さを味わったりする。

8 準備物

ねぎぼうずの写真，題名を伏せた短詩のカード，短詩を書くカード，ヒントを書いた紙

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
<p>○新出漢字の練習</p> <p>○「ねぎぼうず」の視写と音読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねぎぼうずの形を想像してノートにかく。</li> </ul> <p>「緑色のろうそくというのと地底から打ちあげられたロケットというのではどう違うでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ろうそくはじっとしているけど、ロケットは動いている。</li> <li>・成長している感じがする。</li> </ul> <p>○「ケムシ」の視写と音読</p> <p>「毛がいっぱい気持ち悪いというのとさんぱつは、きらいというのではどう違うでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケムシの気持ちが分かる。</li> <li>・ケムシを作者が嫌がっていない。</li> <li>・優しい目で見ている。</li> </ul> <p>○題名当てクイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・…しているので…だと思います。</li> <li>・…というのは…の気持ちだと思います。</li> <li>・…するので…だと思います。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>もっとたくさん題名当てクイズをするので、みんなも短い詩を作りましょう。</p> </div> <p>○グループで題名当てクイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが答えられない場合はヒントを言う。</li> <li>○○，○○，○○の中のどれかです。</li> <li>よく○○にいます。○○にあります。等</li> </ul> <p>○一番面白い作品をグループで選ぶ。</p> <p>○各グループの作品を発表する。</p>	<p>☆書けたか挙手で確認する。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見て、想像したものと比べる。</li> <li>・どんな形に見えるか問いかける。</li> <li>・ノートに考えを書かせる。</li> <li>・机間巡視のあと、指名する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケムシはどんなものか聞く。</li> <li>・どんな意見が書けたか班で確認する。</li> </ul> <p>☆様子だけでなく、動きや気持ちが分かる表現にするほうが面白いことに気づいたか。（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を書いたカードを提示して題名を予想させる。</li> <li>・題名の候補を板書し、それぞれのカードがどの題名になるか考えさせる。</li> <li>・理由をつけて発表させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さいカードを一人に3枚ずつ配る。</li> <li>・題材が見つからない児童に対しては、身の回りのいろいろなもの名前が書かれた紙を渡す。</li> <li>・書けない児童が多い場合は早くできた児童の作品を全体に紹介する。</li> <li>・カードを机の真ん中に置き、書いた人が読んで、ほかの人が題名を当てる。</li> <li>・動きや気持ちが分かる表現が入っている詩が面白いことを確認する。</li> <li>・大きな紙に書かせて、黒板に貼る。</li> </ul> <p>☆意欲的に短詩作りをしようとしているか。（ノート 観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が作った作品に題名を書いてノートに貼らせる。</li> </ul>

10 授業の観点

題名当てクイズは意欲的に短詩作りをするために効果的であったか。